

令和3年度第2回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日時：令和4年1月25日（火） 13：45～16：05
- 場所：各校オンライン研修
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師22名

目的

- ・児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」となる道徳科の授業づくりのポイントについて研修を行い、具体的な指導方法を学ぶ。
- ・各校の取組について交流をするとともに、次年度に向けた計画の見通しをもつ。

研究授業 教材名「未来を変える挑戦—スティーブ・ジョブズ—」

主題名「希望を持ち続けることの大切さ」庄原市立東城小学校 教諭 和田 和子

【授業を参観する視点】

1. 児童が主体的・対話的になっていた場面
2. 深い学びにつながる授業の工夫

【参観者の感想】

- ・アンケートなどを活用し、課題意識をもたせる工夫を行っていく。
- ・自分の考えを発表するだけでなく、子供たちは「～さんと似ている」や「付け加えて」など、友達の考えと比べたり、付け加えたりしながら自分の考えを深めていた。
- ・導入とまとめのつながりを意識することで、児童の変容が見取りやすいので、道徳ノートと並行して、ワークシートを活用したい。

事後協議・講話・演習 「道徳科の充実に向けた授業の在り方について」

広島県北部教育事務所 指導主事 塩田 佐恵

道徳科を要とした道徳教育の充実に向けて

来年度に向けて

- ① 今年度の道徳教育全体計画の確認
・道徳教育の重点目標について
- ② 別業の見直し
・今年度の取組を振り返り、気付きを加筆する
重点目標との関連、実施時期、内容等



【講話・演習の概要】

- 広島県道徳教育の重点目標として、①カリキュラム・マネジメントによる道徳教育の指導の充実②道徳教育の要となる道徳科の授業と評価の充実③道徳教育推進教師の役割を明確にした体制づくりの3点が挙げられていることの確認を行った。
- 来年度に向けて、「今年度の道徳教育全体計画の確認」と「別業の見直し」を行うことについて助言をいただいた。

交流・講話 「次年度に向けた道徳教育推進教師としての動き」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 砂走 敏和

【取組】

- ・学年ごとに教員を入れる袋の作成。
- ・道徳参観日の指導案統一
- ・所見の研修を行った
表現の統一を図ることができた。
- ・評価についての校内研修
- ・ワークシート作成していたのを学級に返したので、学級で統一されたワークシート
- ・所見は数人分先に出してもらって学年で統一した所見にする（複数クラスの場合）

【成果】

- ・全ての教材の資料を整理することができた。
- ・校内研修を行った結果、所見などの表現の統一がはかれた
- ・三学期とも所見を書いた（丁寧な見とり・道徳教育の充実）

【課題】

- ・道徳の授業を参観するなどの時間を設けることができなかった。
- ・初任4年目までの先生の道徳の授業づくりについて話し合いが不足していた。

【交流・講話の概要】

- 各校の道徳教育全体計画に明記されている項目について確認した。次年度に向けた計画を進める上で、特に「重点内容項目」を児童生徒の実態をもとに設定することを伝えた。
また、今年度の取組や成果と課題について、各校、グループに分かれて交流する。交流したシートについては、Classroomに残し、次年度の取組等の参考とする。

【今年度の取組と成果と課題についてまとめている様子】

【参加者の感想】

- ・今年度の本校の全体計画を見ると、重点項目の数が多いことが分かった。次年度の計画を作成するにあたって、まずは今年度の児童の実態を教員間で協議するとともに、それを受けて、重点項目を絞り、よりよい計画とする。
- ・主体的・対話的で深い学びを意識した道徳の授業づくりでのポイントを、他校の先生方の視点から感想を聞くことで、新しい発見があった。